

～自由民権と地方自治に生きた～小池 勇

小池勇（1854～1940）は、可児郡池田町屋村（現・多治見市池田町）出身の人物です。自由民権運動に奔走するなか、「静岡事件」により投獄され、11年間を北海道空知の監獄で過ごしました。出獄後は、池田村政に尽くし、また岐阜県議会議員や議長も務めました。

「^{きゅうじ}医ハ一身ヲ^{とどまり}救治スルニ止テ
天下ノ病ヲ医スルニ足ラズ」

～医学は一人の身を助けるのみで
天下国家の間違いを正すことはできない～

安政元年（1854）池田町屋の医師の家に生まれました。12歳の時、医学の勉強のため医塾に入ります。国を正す維新の志士に憧れていた勇は、祖父の反対にあいながらもほとんど身一つで上京し、勉強を重ねました。

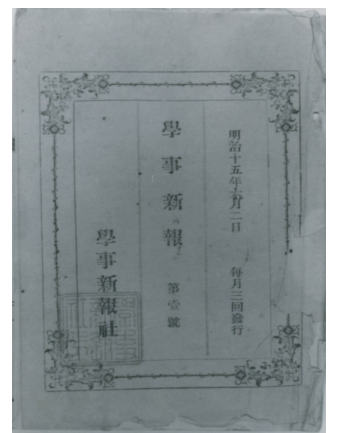
静岡事件の発覚 そして投獄

明治17年（1884）養正学校（現・養正小学校）の校長に就任しますが、自由民権運動にますますのめりこんでいきます。大臣暗殺を企てた「静岡事件」の謀議に加わり逮捕、11年間に北海道空知の監獄で過ごしました。

「^{おい}大ニ時事ニ感スル所アリテ、
断然職ヲ辞ス」

～自由民権運動へ～

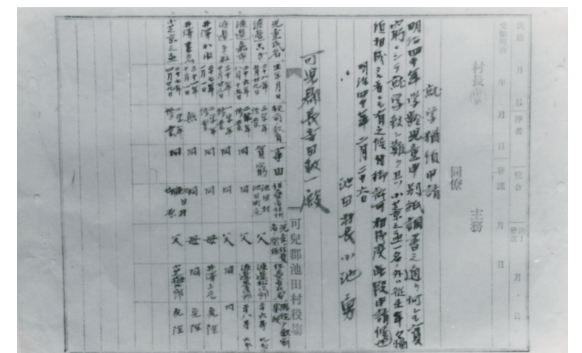
明治8年（1875）^{こうしん}苟新学校（現・池田小学校）の教師となり、教育の現状を訴えるなど熱心に仕事にあたります。政治への思いを強くした勇は職を辞し、各地で演説会を開いたり、政論雑誌の発行をはじめます。



明治15年（1882）
勇らの発行した政論雑誌『学事新報』

村政への献身 県政への意欲

出獄後は、乞われて池田村の村長となります。50歳の時、岐阜県議会議員に当選し、議長も務めました。4年後、再び池田村長に任じられ、以後22年間に池田村政に捧げました。



明治40年（1907）
池田村長の勇から出された「就学猶予申請」

明治16年（1883）
養正学校長時代の勇

郷土のことについて調べるなら

郷土資料室へ

多治見市に関する資料や、皆様から寄せられた文書や記録などを整理し、保管しています。資料は皆様の調べ学習や研究などにもご利用いただけます。地域の歴史に関するご相談は、郷土資料室までどうぞ。皆様からの郷土資料のご寄贈や情報の提供もお待ちしております。

多治見市図書館郷土資料室

【場 所】 多治見市豊岡町1-55 ヤマカまなびパーク4階 JR多治見駅より徒歩5分

【電 話】 0572-23-3783

【開室時間】 火～土曜日 10時～17時（日・月・祝日・年末年始は休室） ※図書館とは開室日・時間が異なりますのでご注意ください